

2. 玉川上水の橋あれこれ その1

概要

寛政3年(1791)に記された上水記では「玉川上水路羽村水元より四ツ谷大木戸迄橋数書付」として82の橋名が明記されている。

現在、開渠部には羽村橋から岩崎橋まで約100箇所の橋がある(水道局用地や旧水衛所の作業橋は除く)。

また、旧浅間橋跡から四ツ谷大木戸跡までの暗渠区間は、すでに撤去された橋も多いが、僅かに残る開渠部や跡地の緑道や公園には約30橋が残されている(一部の橋は親柱や欄干のみ)。

渋谷区では記念碑等として、公園などに残された10橋余りの橋について最近親柱や欄干を造り替えている。

橋の管理

橋は村持(村有)のため、その維持は地元の担当となった。木造のためしばしば架け替えが必要となりその負担は村人にとって大変なものであった。土地面積に比例した割り当てや、近隣の村に助成の嘆願をするなど費用の捻出に苦慮した記録が多く残る。

現在、橋の管理は原則として、国道、都道、市・区道などその道路の管理者が行なっている。(緑道内の一部の歩行者専用橋は東京都が設置)

左右があった久衛門橋

上水記には個人名が付けられた橋は久右衛門橋、八左衛門橋、喜兵衛橋(現喜平橋)、萬助橋、長兵衛橋、孫兵衛橋、久左衛門橋、勘右衛門橋、代右衛門(藤十郎)橋、五郎兵衛橋等がある。

小平市内に現存する久右衛門橋に対し、杉並区のと泉給水所近くには久左衛門橋があった。この橋は現在、暗渠の上に親柱と欄干が残されている。

(太字は現存する橋)

互知識 作場橋

上水記に記載された橋名の約3割(24箇所)は「作場橋」となっている。作場橋とは農作業等で通行するための作場道(作業のための通路)にかかけられた橋で、木造の簡単な無名橋の一般名ともなっている。

3. 玉川上水の橋あれこれ その2

レンガアーチ橋

4橋が現役のレンガアーチ橋として残っている。いずれも上水記に名前のある歴史の古い橋。

☆ 日光橋(福生市・旧日光街道)

上水記「熊川下モノ橋 日光橋とも云」とある。現在の橋は明治24年7月に木橋をレンガアーチ橋に架け替えた。昭和25年3月、道路拡幅のためレンガ橋の両側にコンクリート製アーチ型橋脚を増設した。

現存する道路のレンガアーチ橋としては国内最古の橋とされている。

☆ 久右衛門橋(小平市・府中街道)

昭和7年(1932)架設の橋を平成3年に大幅改修を行った。レンガ積みの古い橋脚は残された。

☆ 小金井橋(小金井市・小金井街道)

現在の橋は昭和5年(1930)に架設されたもので改修されない橋としては玉川上水現役最古の橋。小金井街道が通り車両の通行が多い。昭和45年に橋の上流、下流の両側に歩行者専用橋が架けられた。

平成19年から全面架け替え工事が始まった

☆ 旧牟礼橋(三鷹市・人見街道)

上水記に「久我山橋・玄蕃橋ともいう」とある。また、東橋やどんどん橋とも呼ばれた。

現在の橋は昭和8年(1933)に架橋された。すぐ下流側に斜めに牟礼橋が人見街道に架けられている。

(この他、コンクリート製のアーチ橋として宮下橋がある)

橋はなくても名は残る

代田橋(京王線駅名)

中之橋(環八通り交差点名・中の橋)

一番多いのが新橋・同名の橋

新橋(福生市、武蔵野市、三鷹市)

稲荷橋(立川市、渋谷区)

くぬぎ橋(小平市、武蔵野市)

桜橋(小平市、武蔵野市)

三鷹の新橋は太幸治の遺体発見場所として有名

玉川上水ワンポイントガイド No.5

玉川上水の橋



日光橋(福生市)の美しいアーチ型橋脚

シリーズ 玉川上水ワンポイントガイド

No	テーマ
1	玉川上水の概要
2	玉川上水の分水
3	玉川上水の分水・小平編
4	玉川上水と小平周辺の新田開発
5	玉川上水の橋
6	玉川上水の水車
7	玉川上水の通船・船溜り
8	玉川上水の樹木・野草・野鳥
9	玉川上水と小金井サクラ
10	玉川上水あれこれ
11	玉川上水お勧め散歩ガイド

発行 No. 5 2007年8月

発行 小平・玉川上水再々発見の会
E-mail tamagawasa@sai@yahoo.co.jp
代表 庄司徳治